

平成 28 年度 妙高市音楽部 活動報告

部長 藤田 由江

1 研究主題

「主体的・協働的に音楽のよさを追求する児童生徒の育成」

2 研究の概要

- (1) 春の研修会
 - 組織づくり
 - 研究主題の設定
 - 年間活動計画の立案
- (2) 夏の研修会
 - 妙高市小・中学校、特別支援学校音楽発表会実施計画の検討
 - 音楽発表会での職員演奏（音楽部員による演奏）曲の選定
- (3) 秋の研修会
 - 上越音楽教育研究会第 53 回音楽教育研究発表大会に参加
- (4) 妙高市小・中学校、特別支援学校音楽発表会
 - 当日運営と振り返り

3 研究の実際

- (1) 春の研修会（平成 28 年 4 月 20 日）

研究主題は、平成 28 年度上越音楽教育研究会研究主題「輝くひとみ あふれる思い響き合う音楽～主体的・協働的に音楽のよさを追求する児童生徒の育成～」に基づいて設定した。秋の研修会は、研究発表大会参加による研修とした。
- (2) 夏の研修会（平成 28 年 8 月 19 日）

妙高市小・中学校、特別支援学校音楽発表会実施計画について、共通理解を図った。全員合唱曲を「ふるさと」から「妙高市歌 めぐる季節は」に変更した。職員演奏（リコーダー合奏）曲として、「365 日の紙飛行機」「少年時代」を選定した。
※11 月 4 日に演奏練習。
- (3) 秋の研修会（平成 28 年 11 月 8 日）

全部員が、糸魚川市立糸魚川東中学校を会場に行われた上越音楽教育研究会第 53 回音楽教育研究発表大会に参加した。授業参観、協議会、指導を通して、児童生徒が主体的・協働的に音楽活動に取り組む音楽授業のあり方について研修を深めた。
- (4) 妙高市小・中学校、特別支援学校音楽発表会（平成 28 年 11 月 11 日）

各校の特色を生かした多彩な音楽活動を通して、児童生徒は音楽のよさを感じとった。また、児童生徒、保護者、地域住民等、参会者が音楽への感動を共有し、絆を深める貴重な機会となった。市歌の全員合唱、職員演奏も、好評であった。

4 成果と課題

研修を通して、児童生徒の学力実態を明らかにしたり、授業改善の視点を見いだしたりすることができた。上越音楽教育研究会第 53 回音楽教育研究発表大会では、主体的・協働的な音楽授業のあり方について具体的に学び、研修を深めることができた。

今後も、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、不断の授業改善に向けた研修を進めることが課題である。